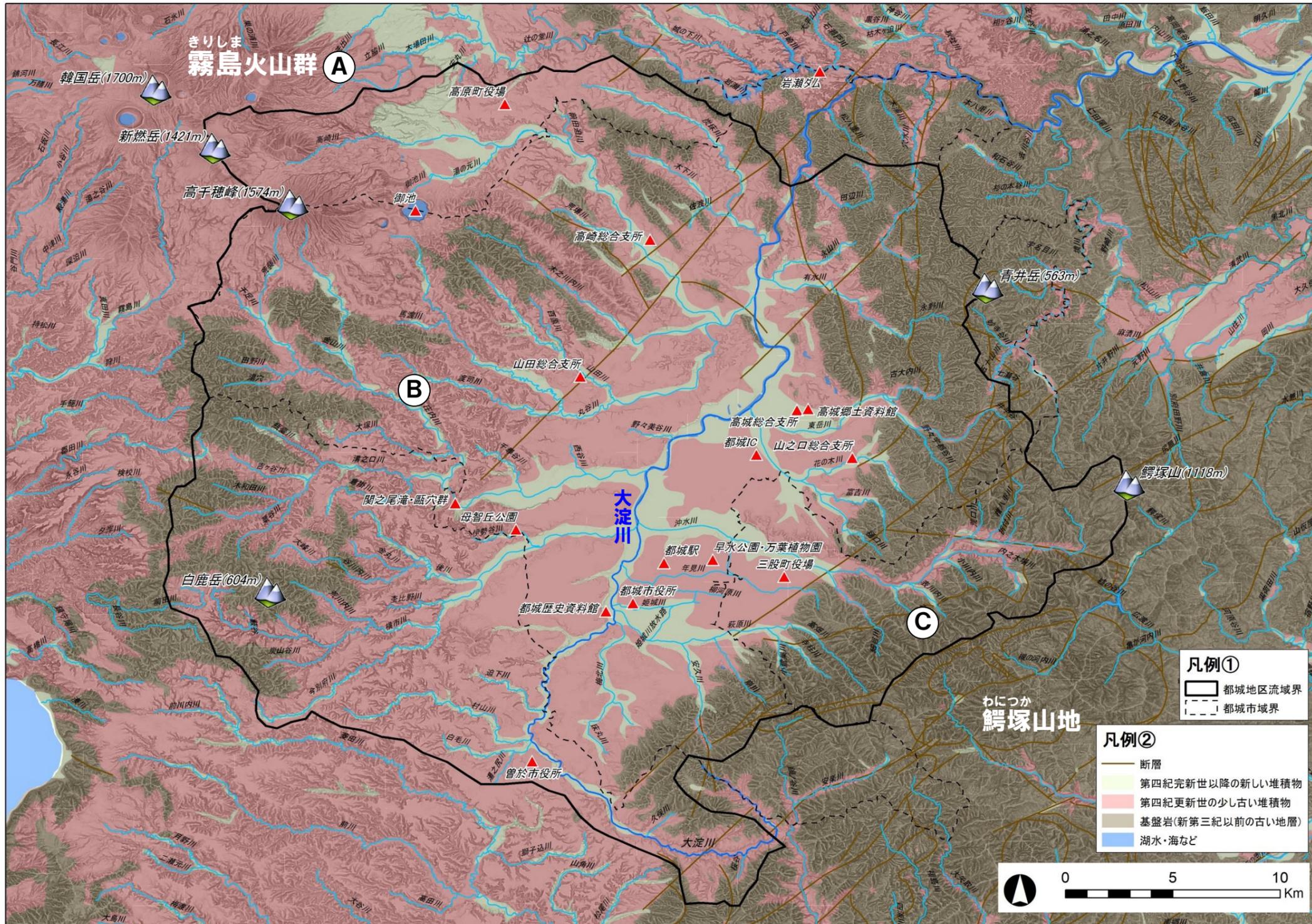


図①-2：都城地区の地質

西側は火山灰の台地が広がり、東側は古い地層でできた山地と水はけの良い扇状地 せんじょうち



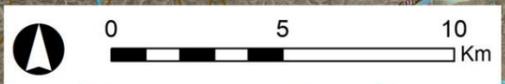
- ・都城盆地の地質は「西部」、「中央部」、「東部」の3つに分けることができます。
- ・「西部」では新しい堆積物(第四紀完新世以降)である霧島火山群①Aが高い尾根となって流域界を形成し、丘陵や台地②Bでは火山灰が降り積もっています。
- ・シラスは堆積時の熱で部分的に溶けて固い溶岩のようになった下部と、隙間の多い軽石や火山砂が混じった水を通しやすい上部に分かれています。
- ・固まった火山灰は地下水を透しにくく、西側の谷の崖の下では湧水が見られたり、関之尾滝などの滝の地形を形成したりしています。
- ・「中央部」②Bは古い湖があった時代に砂等が溜まり、その後河川から流されてきた砂やれきが溜まったため、地下水が透りやすい構造になっています。
- ・「東部」③Cの山地は固い地盤となっています。

凡例①

- 都城地区流域界
- 都城地域界

凡例②

- 断層
- 第四紀完新世以降の新しい堆積物
- 第四紀更新世の少し古い堆積物
- 基盤岩(新第三紀以前の古い地層)
- 湖水・海など



地質年代と地下水の通しやすさ

およその年代	地質時代	主な構成物	地下水
現代	第四紀完新世	礫・砂・泥	通しやすい
1万1700年			
258万年	第四紀更新世		
6600万年	第三紀	火山岩類 深成岩類等	通しにくい
中生代～古生代 (中生層)			
2億5千万年		火山岩類 深成岩類 変成岩等	

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地質分布	20万分の1日本シームレス地質図	産業技術総合研究所地質調査総合センター
行政区界	国土数値情報 行政区区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。